2026 School Guide

GIFU PREFECTURAL
KANO HIGH SCHOOL

岐阜県立加納高等学校

〒500-8276 岐阜市加納南陽町3-17
TEL（058）271-0431（代）
FAX（058）274-8025
E-mail c27305@gifu-net.ed.jp

加納高校 WEBサイト
https://school.gifu-net.ed.jp/kano-hs/

加納高校
YouTube

加納高校音楽科
instagram

加納高校美術科
instagram

JR岐阜駅（南口）より徒歩25分（約1.5km）

JR岐阜駅（北口）、名鉄岐阜駅前より

① 岐阜バス加納島線 E31系統、E32系統にて加納高校前下車
② 岐阜バス加納南線 E12系統、E13系統にて南陽町加納高校前下車
いずれも下車後、徒歩2分

JR岐阜駅（南口）より

加納めぐりバス「東回り」「西回り」にて加納高校前下車

PRIDE

2026 School Guide

加納プライド。

Every day a new adventure

岐阜県立加納高等学校
GIFU PREFECTURAL KANO HIGH SCHOOL

Every day a new adventure

加納高校は普通科・音楽科・美術科、3つの分野を多様に選択できる、岐阜県唯一の高校。

加納高校のアドミッションポリシー

1 知的好奇心が旺盛で、目標に向かって勉学に励むことができる生徒	2 自由な校風の中で、部活動や生徒会活動などに主体的に取り組むことができる生徒
3 音楽を専門的に学び、演奏家や指導者などを目指している生徒(音楽科)	4 美術を専門的に学び、作家やデザイナーなどを目指している生徒(美術科)

加納高校のクラス編成

9 class　360　全校 定員360名(9学級)

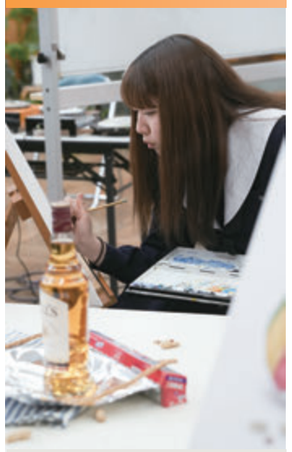
普通科

7 class
280
普通科 定員280名(7学級)

音楽科

1 class
40
音楽科 定員40名(1学級)

美術科



1 class
40
美術科 定員40名(1学級)

＊入学定員は2025年入学生のもの

The next 100 years

110周年を迎える加納高校　次の100年に向けて

次の100年に向けた新しい学びのデザイン

加納高校の歴史は古く、創立110周年になります。少子化や不安定な社会情勢、コロナ禍から変わり始めた社会の在り方。目まぐるしく価値観が変化する現代において次世代を担う高校生たちの成長は欠かせません。加納高校では生徒自らが自主的に考え、幅広い学びを通じて、生徒の可能性を最大限に伸ばし、1･2年生の基礎充実、3年生で進路に応じた選択科目の充実など新しい学びの提案やカリキュラム改革も積極的に行っています。次の100年に向けたこれからの新しい学びのスタイルと新しい高校生像を加納高校で一緒につくって行きましょう。

point 1 進路実現

進路に応じたカリキュラム
豊富な授業選択
将来の目的を考える時間の充実

point 2 文理融合

じっくりと特性を見極める時間
教科横断的な探究学習の充実
キャリアデザインを深める機会

point 3 自主自立

6時限を中心とした時間割構成
生徒の自由な時間を確保
生徒の自主的な学びを育成

3年生　キャリアを実現する学力

主体的な学びを実現
将来の目標を具体化
培った力を生きる力へ

2年生　基礎力の充実

学ぶ意味を知る
探究活動の充実
可能性を広げる

1年生　学習習慣の確立

自主自立の精神
自分のキャリアを考える

羽ばたく　成長する　根を張る

教養	生涯学び続ける力	他人事を自分事にする力	人生を切り拓く力	豊かな心・創造力

The next 100 years

これまでの加納高校

1916（大正元）年	岐阜県加納高等女学校
1930（昭和5）年	岐阜県岐阜第二中学校
1948（昭和23）年	岐阜県加納高等女学校と 岐阜県岐阜第二中学校を統合 岐阜県立加納高等学校発足 普通科設置
1952（昭和27）年	音楽科設置
1963（昭和38）年	美術科設置
1966（昭和41）年	創立50周年記念式典挙行
2002（平成14）年	音楽科創立50周年 美術科創立40周年記念式典挙行
2015（平成27）年	創立100周年記念式典挙行

110

加納高校 創立110周年

Advantage

加納高校のアドバンテージ

1

Advantage

普通科・音楽科・美術科、刺激しあえる３つの学科

加納最大のアドバンテージ。

加納高校は岐阜県内で唯一、普通科に加え音楽科と美術科を併置しているのが特徴です。普通科・音楽科・美術科それぞれの学科で大学進学へのサポートも行っています。
玄関や校舎には歴代の卒業生たちの作品が飾られ、校内ではどこかで音楽が聞こえてくる、活気に満ちた芸術と文化溢れる学校です。
学科は分かれていても、文化祭やスポーツイベント、部活動など様々なシーンで交流することが出来ます。
生活スタイルや仕事の在り方も多様化するこの時代にいろいろな価値観に触れられることが加納高校の最大のアドバンテージと考えています。

2

Advantage

岐阜の中心に位置する立地

JR岐阜駅南口から徒歩圏内で、岐阜市外や遠方からも通いやすい場所に位置しています。市内の生徒は自転車で通学することが多く、電車を利用する生徒は、岐阜駅南口から徒歩・バス・自転車など、自分に合った方法で通学しています。写真は北舎から撮影した岐阜駅方面の高層ビル群。

3

Advantage

自主性育てる自由な校風

加納高校は自主性を重視し、自由な校風をモットーにしています。普段の学習におけるディスカッションはもちろん、文化祭やスポーツイベントなども生徒が主導しています。また服装の自由化や、新しいカリキュラム改革などにも取り組んでいます。

4

Advantage

1000人を超える、生徒数の多さ

OVER
1,000

1学年の定員は360名で、3学年全体の生徒数は1000人を超え、個性豊かな生徒に囲まれ、毎日が刺激的です。白梅祭などのイベントは岐阜県下でも屈指の盛り上がりを見せます。

Message

生徒会長からのメッセージ

互いを尊重しながら、高め合う。

普通科 3年7年
2025年度 生徒会長

小島 嘉仁

加納高校には今年で創立110周年という歴史と伝統があり、校訓である白梅精神のもと生徒一人一人が自らの目標に向かって日々精進しています。
また、全国にも数少ない普通科・音楽科・美術科の3学科を併置した学校であり、日常から自らの感性をより良いものへ磨くことのできる環境となっています。1年を通し、文化祭や春と秋の球技大会などの生徒が主体となって企画・運営をする行事を行っており、学校全体として盛り上がると同時に一人一人の自主性を磨いています。
その他にも、服装規定の緩和やスマートフォンの使用規定の見直しを行い、生活面でも自主性を磨いてきました。昨年度には、「加納高校身だしなみ宣言」を作成し発表することで、自由の中に最低限の礼儀というものを全校で共通認識として持つことで、以前からあった「身だしなみ規定」と同様に詳細な記載をしないことで生徒一人一人の自主性及び考える力をつけ、自らを律することで新たな自分へと歩みを進めています。
このように、文化的でありながらも生徒一人一人の自主性や社会性を育み、互いを尊重しながら高め合うことのできる環境で勉学に励み、そして学校生活を送れていることに深い感動を覚えると同時に、大きな誇りを感じています。

School uniform

加納高校の制服

みんなのデザインから生まれた制服

現在も続く女子生徒のスカートの黒線は、加納高等女学校1回生が在校中、校章・バッジがない代わりに袴に線を入れることを発議し、決定したことに由来しています。
夏服のセーラー服は2015年の創立100周年を機に、在校生や保護者、卒業生から寄せられたデザイン画を参考に決定されました。清楚な印象の真っ白なセーラー服で、生徒からの人気も高いデザインです。
このように伝統を受け継ぎつつ、学校生活に合わせた服装の在り方を生徒会とともに検討し、2022年からは制服以外の服装の着用も可としています。

詳しい服装規定はこちら

夏服 Summer

冬服 Winter

自分達で考え、
創り上げる。

生徒主体の活動

加納高校では、生徒が主体となって「今よりもっと素敵な加納高校になるにはどうしたらよいか」を考え、生徒会執行部や生徒議会を中心として話し合い、学校長への提言が行われています。
近年では、生徒会が中心となって「身だしなみ宣言」を策定し、頭髪や服装等に関して自律することを宣言しました。他にも、自動販売機のラインナップの更新や視聴覚室の多目的室化に関する提言など、自発的に活動しています。このように、自主・自律した生徒主体の活動ができることは、加納高校の魅力の一つです。

Activity

生徒主体の活動

生徒会活動

加納高校の生徒会執行部は、生徒のみなさんから目安箱等で頂いた意見だけなく、自分たちで自分たちの生活をよりよくするための活動をしています。執行部以外にも各種委員会があり、委員長を中心として活動をしています。

SHOW文化祭

加納高校には、他の学校にはないSHOW文化祭があります。SHOWは「小」の意味も兼ねており、小さな文化祭として、毎年2月に文化系部活動の発表と、美術科のプレ卒展を同時期に実施しています。文化の薫り高い加納高校ならではの行事の一つです。

球技大会・スポーツ大会

球技大会やスポーツ大会も生徒たちが主体となって、イベントを運営しています。

pick up

加納みらい座談会

生徒会執行部が中心となり、学校生活がよりよいものになるよう、話し合いをしています。その後、生徒議会を通じて、全校生徒の意見も取り入れ、生徒会執行部が提言書にまとめて学校長に提案しています。

白梅祭

1年の中で最大のイベント、
盛り上がる白梅祭。

加納高校の文化祭は白梅祭といいます。白梅祭では、普通科・音楽科・美術科・文化系部活動等がそれぞれの特長をいかして発表をしています。夏休み前から何度も各団体で話し合いを繰り返し、白梅祭のテーマに沿った発表を考え、企画します。企画・運営は基本的にすべて生徒が中心となっています。それぞれの団体が時間をかけて練り上げた発表は、一見の価値があります。

Environment

学習環境

明るく統一感があり、
居心地の良い学習環境に改装。

オレンジ・白・グレーに校舎を統一

2024年度までに北舎を段階的に全面改装し、明るく居心地の良い空間にリノベーションしました。廊下や壁面は全体的に白とグレーに統一し、防火扉など随所にアクセントで、加納高校のスクールカラーに近いオレンジを配置しました。時代に合わせて開放的で清潔感のある校舎に生まれ変わりました。
また、各教室のエアコンを最新のものに更新したほか、トイレの全面洋式化、特別教室のリニューアルなど、より学びやすく、みんなの笑顔が溢れる学びの場に日々改善しています。

空調設備の更新

全ての普通教室のエアコンを刷新しました。これにより、夏の暑さや冬の寒さの中でも、快適な室温のもとで落ち着いて学習に集中できる環境が整いました。

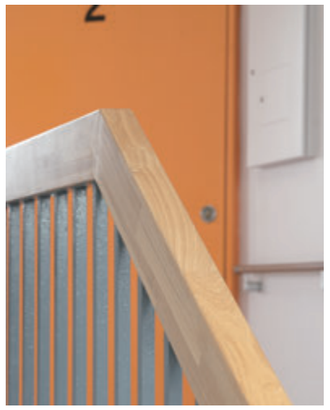
教室の木質化

一部の教室を木質化し、木のぬくもりに包まれた空間へと生まれ変わりました。木材の自然な色合いや香りにより、居心地の良い学習環境を実現しています。

特別教室［学舎］

様々なレイアウトが可能な台形の机のある特別教室。円形に並べたり、2人組や3人組など授業の特性に応じ可変する、新しい学びに適応した教室です。

温もりのある木調の手すりなど



北舎全体の階段の手すり等を、木調に変更。シンプルに計画された配色に、木材のアクセントを加えることで、naturalで居心地の良い空間になりました。

芸術の香りが溢れる校内

芸術の薫りが溢れる校内には音楽科の授業の音色や、美術科の制作の匂いが感じられます。美術科の優秀作品が至る所に飾られ、日常の中で自然に芸術に触れることができます。

北舎トイレの改装 / 洋式化

北舎の全てのトイレを全面改装しました。すべて洋式化し、時代に合わせた快適な使用に変更。ホワイトを基調とした清潔で明るい空間に生まれ変わりました。

General class

普通科の紹介

普通科

加納の普通科 変わります
自分でデザインできる新カリキュラム。

学びも時間も、自分でデザイン。

3年生では、従来の“7限”にあたる時間帯のほとんどが選択科目制となります。自分の興味・関心、進路目標に合わせてキャリア探究科目を選択し、学びを深めることができます。また、早い時間から自学自習をしたり部活動に参加したりするなど、自分のスタイルに合わせた過ごし方もできます。

文理をこえて、思考が交わる。

2年生までは、文系・理系に分かれず同じクラスで学ぶ「文理融合クラス」を採用。じっくり基礎を固められます。また、異なる進路を目指す仲間と共に過ごすことで、多様な価値観や考え方に触れながら、視野を広げることができます。

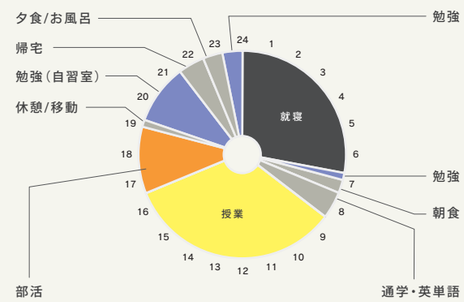
interview

丸尾 子龍
普通科3年［サッカー部］

できるときに、できるだけ。

私の学習のモットーは「できるときに できるだけ」です。私はまとまった時間で机に向かっても集中できる時間に限界がありました。そこで無理に長時間連続で勉強する代わりに、日常の中に勉強時間を分散させました。お気に入りは、朝起きて少し勉強してからご飯を食べることです。この「今、少し勉強できるかも」という時間をどれだけ見つけられるかが大切だと思います。
他に大切にしていることが友達や家族との会話です。高校生活は毎日たくさんの人と関われて本当に楽しい日々です。そして勉強でも生活のことでも困った時に助け合えるのは友達です。そういった人間関係が思わぬ形で自分を助けてくれます。残りの高校生活もみんなと全力で楽しみます。

1day diary
普通科の日常



どう変わる？ 普通科 新カリキュラム Q&A

Q これまでの普通科のカリキュラムと大きく変わった点はどこですか？

A ３年生になるまでは文理共通のクラスであることと、ほとんどの共通科目が６限までで終わり、７限の授業の多くは選択科目となったことです。

Q ２年生のクラス編成が文理共通となることのメリットは何ですか？

A じっくりと基礎科目を学びます。一方で、同じ教室内で異なる進路や考えをもつ仲間と過ごし、視野が広がることや切磋琢磨しながら学ぶことができます。

Q 文理共通のクラス編成でも、受験に対応できる科目選択は可能ですか？

A クラス編成は文理共通ですが、２年生から個人の進路希望に合わせて理系科目や文系科目を選択し、発展的な内容を学ぶことができます。

Q ７限に多くの選択科目がありますが、どのような過ごし方ができますか？

A 自分の興味・関心、進路希望、また学習スタイルに合わせて自由に時間を設計することができます。受験に必要な科目を選択することはもちろん、学校の自習スペースで勉強をしたり、部活動に参加したり、早い時間から自宅で学習を行うことなども可能です。

Q ２年生以降、選択科目がたくさんあるようですが、特徴的な科目があれば教えてください。

A 選択科目には、自分の進路希望に応じて、受験対策を行うことを中心とした科目や、進学後の興味関心に応じた科目等幅広く用意しています。

例：「言語と社会課題表現探究（国語・社会・英語）」では社会課題について探究的に学びます。社会科の教員の支援のもと内容を深掘りしたり、国語科や英語科の教員の支援のもと、調べた内容や自らの考えを論理的に表現する力を伸ばすことができる、教科横断的な科目です。

普通科新カリキュラム 科目一覧

1年生 クラス編成 文理共通

	月	火	水	木	金
1限	共通科目				
2限					
3限					
4限					
5限					
6限					
7限			LHR		

必履修科目を中心とした共通科目の学びを通して基礎学力を充実させます。週２日７限、週３日６限授業とし、放課後は個々のスタイルに合わせ、自主的な学びを進めることができます。

■ 共通科目
現代の国語　言語文化　地理総合　公共
数学Ⅰ　数学Ⅱ　数学A　物理基礎　生物基礎
体育　保健　音楽/美術/書道Ⅰ
英語コミュニケーションⅠ
論理・表現Ⅰ　家庭基礎　総合的な探究の時間

2年生 クラス編成 文理共通

前期

	月	火	水	木	金
1限	共通科目				
2限					
3限					
4限					
5限					
6限					
7限			LHR	キャリア探究	

後期

	月	火	水	木	金
1限	共通科目				
2限					
3限					
4限					
5限	類型別共通科目				
6限					
7限			LHR	キャリア探究	

前期まで共通科目とし、後期から地歴公民と数学、理科の科目を選択して学びます。週に１時間は、キャリアや興味・関心に応じた選択科目を選び、探究的な学びを深めることができます。選択しない場合は、自分の学習スタイルに合わせて自由に時間を設計できます。

■ 共通科目（前期）
論理国語　古典探究　歴史総合　数学Ⅱ　数学B
化学基礎　体育　保健　英語コミュニケーションⅡ
論理・表現Ⅱ　情報Ⅰ　総合的な探究の時間

■ キャリア探究科目
スポーツ特論　音楽基礎　美術基礎　美術特講　食生活
言語と社会課題表現探究（国語・社会・英語）
理数探究基礎（数学・理科）

■ 共通科目（後期）
論理国語　古典探究　数学B　数学C　体育　保健
英語コミュニケーションⅡ
論理・表現Ⅱ　総合的な探究の時間

■ 類型別共通科目
類型Ⅰ：日本史/世界史探究　数学Ⅱ　化生基礎
類型Ⅱ：地理探究　数Ⅲ　化学　物理/生物

■ キャリア探究科目
スポーツ特論　音楽基礎　美術基礎　美術特講　食生活
言語と社会課題表現探究（国語・社会・英語）
理数探究基礎（数学・理科）

3年生 クラス編成 文理別

	月	火	水	木	金
1限	共通科目				
2限					
3限					
4限					
5限	文・理別共通科目				
6限					
7限	キャリア探究	キャリア探究	LHR	キャリア探究	

文系・理系ごとに分かれ、キャリア選択に合わせて学びます。週３日７限に、各個人の進路希望や学習スタイルに合わせてキャリア探究科目を選択して学ぶことができます。選択しない場合は、自分の学習スタイルに合わせて自由に時間を設計できます。

■ 共通科目
論理国語　古典探究　数学C　体育
英語コミュニケーションⅢ
論理・表現Ⅲ　総合的な探究の時間

■ 文系
日本史/世界史探究　倫理　数学A　化学基礎　生物基礎

■ 理系
地理探究　数Ⅲ　化学　物理/生物

■ キャリア探究科目
国語特講　地歴公民特講　数学特講Ⅰ・Ⅱ
理科特講（化学・物/生）　英語特講Ⅰ・Ⅱ　情報特講
スポーツ特論　音楽基礎　美術基礎　美術特講　食生活
言語と社会課題表現探究（国語・社会・英語）
理数探究基礎（数学・理科）

記載された内容は、現時点での予定です。

Music class

音楽科の紹介

ここで磨こう感性、
奏でよう未来。

Every day a new adventure

音楽科

ピアノ/声楽/管楽器/弦楽器/打楽器/作曲

加納高校・音楽科は県内唯一の音楽の専門学科です。ピアノ/声楽/管楽器/弦楽器/打楽器/作曲があり、高い専門性を学ぶことができる環境があります。
本校の音楽科では、音楽の専門授業として、音楽理論、音楽史、ソルフェージュ、演奏法、合唱・合奏、専門実技などを学習しています。

専門科目

音楽理論　音楽史　演奏研究
ソルフェージュ　合唱・合奏　主専攻実技　副専攻実技

主な行事

卒業演奏会［12月/サラマンカホール］
定期演奏会［7月/サラマンカホール］
海外研修［2年/プラハ・ザルツブルク・ウィーン］
- プラハ市内研修/プラハ音楽院 等
- モーツァルト生家/モーツァルト住居 等
- ウィーン市内研修/ウィーン国立歌劇場/ウィーン楽友協会 等

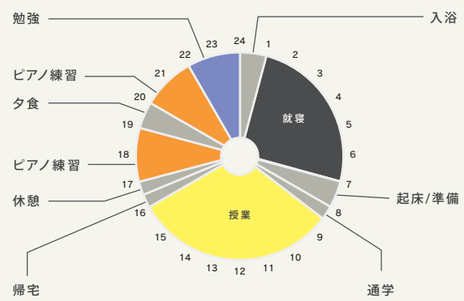
interview

田中 優花
音楽科3年［ピアノ専攻］

音楽の楽しさを伝えたい。

私の将来の夢は、音楽の教師になることです。音楽の楽しさをたくさんの子どもたちに伝えたい、そのために音楽の専門性を高めたいと思い加納高校の音楽科に進学しました。
音楽科の授業には、主専攻・副専攻のレッスン、合唱・合奏、演奏研究、ソルフェージュ、音楽史、音楽理論、和声法といった音楽の専門的な授業を受けることができます。私は、その中でも演奏研究が特に楽しみな授業です。演奏研究では、連弾や2台ピアノ、他の楽器とのアンサンブルに取り組みます。仲間とともに音楽を作っていく過程がとても楽しく、他の仲間たちのアンサンブルの演奏が刺激となり、自分自身の演奏に生かされているように感じています。
毎日の生活では、普通教科の学習も怠らないように気をつけています。音楽の実技練習と普通教科の学習の両立を常に意識して取り組んでいます。
音楽の道は、大変なことや厳しいこともたくさんありますが、納得のいく演奏ができた時の感動は、次の演奏への一歩へとつながっています。これからも、心に響くような音楽を届けられるように、そして教員という夢を叶えるために日々努力を重ねていきます。

1day diary
音楽科の日常



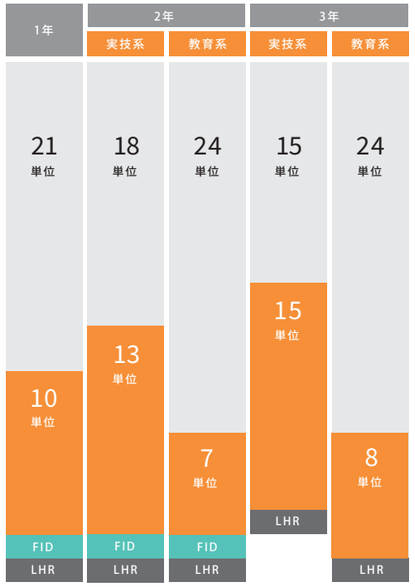
音楽科のカリキュラム

共通教科の他に音楽理論や演奏研究などの専門科目を1年生から勉強し、音楽をより専門的に学びます。専攻実技レッスンは、マンツーマンで指導を受けることができます。
2年生からは、実技系と教育系に分かれ、実技系は、個人の演奏能力を伸ばし、教育系は共通テスト対策に力を入れます。

✔ 専門科目

音楽理論　音楽史　演奏研究
ソルフェージュ　合唱・合奏　主専攻実技　副専攻実技

単位：週当たりの授業時間数
※カリキュラムの詳細については、加納高校WEBサイトをご覧ください。



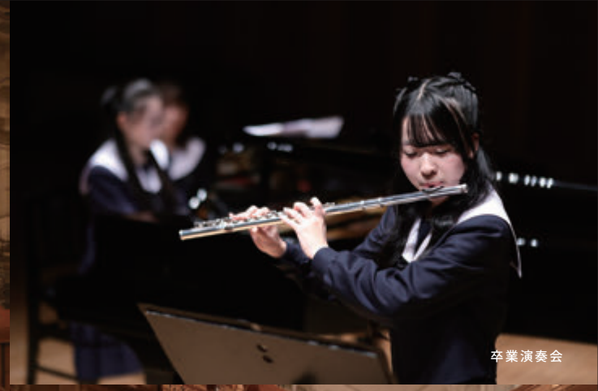
共通教科　専門科目［音楽］
FID：総合的な探究の時間　LHR：ホームルーム
※教育系大学の受験希望者は、2・3年生で数学、理科を選択して受験に対応します。

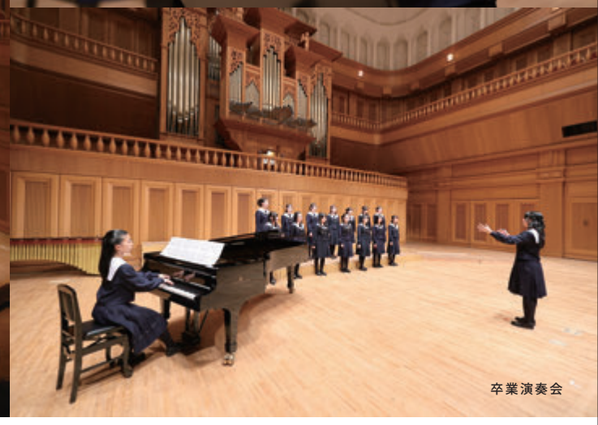
Q 海外研修の収穫は何でしたか？

A 何といっても一番の収穫はプラハ音楽院のレッスンです。レッスン室は日本とは違い、天井がとても高くてホールのような響きで演奏ができました。レッスン室の窓からは、モルダウ川、遠くにプラハ城が見える素敵な環境で、日本で学んできたものとの違いを感じ、あっという間の楽しいレッスンでした。

授業風景

定期演奏会


卒業演奏会


卒業演奏会

卒業演奏会

卒業生一人一人がサラマンカホールの舞台に立ち、高校生活3年間の集大成の演奏を聴衆の前で披露します。また、音楽科全員で音楽の素晴らしさを共有しながら、合唱や合奏の演奏も披露します。

定期演奏会

選抜された生徒による多彩な楽器演奏や音楽科全員による合唱・合奏を披露します。サラマンカホールで開催されるこの演奏会は、聴衆の皆様に音楽の魅力を存分に味わっていただき感動と喜びをお届けします。

海外研修［チェコ・オーストリア］

プラハ・ザルツブルク・ウィーンにて研修します。本場のオーケストラやオペラはスケールが大きく、豊かな音色や表現力に心動かされます。また、偉大な作曲家の過ごした家や街並み、教会やコンサートホール、博物館などのすべてが感動的であり、海外研修で忘れられない体験をたくさんすることができます。

プラハ音楽院でのレッスン

チェスキー・クルムロフ（チェコ）

ウィーン国立歌劇場

シェーンブルン宮殿（ウィーン）

Art class

美術科の紹介

Every day a new adventure

美術科

日本画/油画/彫刻/デザイン工芸

加納高校・美術科は県内唯一の美術の専門学科です。より専門的に美術を学ぶために、日本画、油画、彫刻、デザイン・工芸の4つの専攻に分かれて実技の勉強ができるところが、美術科の最大の特徴です。
高校卒業後の進路は、さらに専門性を高めるための進学がほとんどで、美術系大学進学のための補習を1年生から計画的に行っているほか、土曜日のアトリエ開放、学習のための教室解放も行っています。また、外部講師を招いての実技指導など、美術系大学進学のためのサポート体制を整えています。

専門科目

美術概論　鑑賞研究　美術史
素描　構成　日本画　油画　彫刻　デザイン・工芸

1年　各コースの課題をローテーションで体験して、専攻を決定

2年・3年　日本画　油画　彫刻　工芸デザイン

主な行事

卒業制作展［3年生・11月］
海外研修［フィレンツェ・ローマ等・2年生］
デッサンコンクール［2年生・3年生］

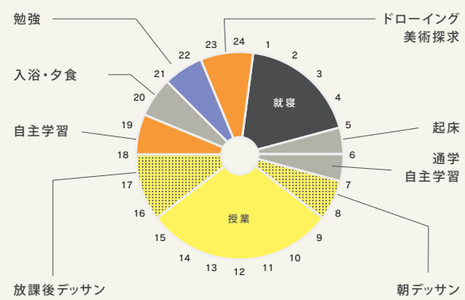
interview

堀場 葵巳
美術科3年［彫刻専攻］

思考し、探求し、彫刻を知る。

美術科で学び始めてから、五感を通して日常の中に美しさや感動を見出すことが増えました。そのような毎日をどう有意義に過ごすのか。
私は、毎日紙に計画を立てる事から始まり、紙に一日を振り返ることで終わります。この習慣によって学科と実技を両立しています。美術史の本や世界の彫刻家の作品をみたり、ドローイングをすることは、将来自分が彫刻家になるための大切な時間です。“常に頭と手を動かし彫刻に触れる”ことは、追い求める自己表現に繋がる道だと信じ学び続けています。

1day diary　美術科の日常



美術科のカリキュラム

共通教科の他に美術概論や素描などの専門科目を1年生から勉強し、美術をより専門的に学びます。1年生の後半から4つの専攻（日本画・油画・彫刻・デザイン・工芸）から1つを選択し、専門的に実技の学習をします。2年生からは、実技系と教育系に分かれ、美術やデザインを将来の仕事につなげることを目標に美術大学への進学を目指します。

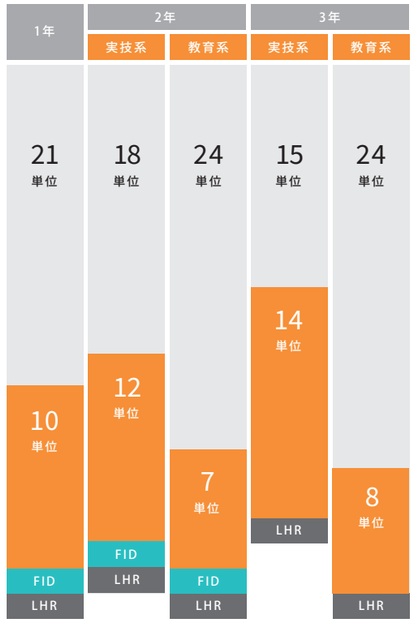
✔ 専門科目

美術概論　鑑賞研究　美術史
素描　構成　日本画　油画　彫刻　デザイン・工芸

単位：週当たりの授業時間数
※カリキュラムの詳細については、加納高校WEBサイトをご覧ください。

Q 美術が大好きですが、才能があるか分からないし自信がありません。また、将来どんな分野に進みたいか決まっていないのですが？

A 「美術が大好き」ならば十分です。学ぶ前から才能の有無を問題にする必要はありません。才能というものがあるとすれば、学ぶ中で開花するものであり、自信もまた学んだ結果生まれてくるものではないでしょうか。本校では、1年生の12月までに4つの専攻を2回ずつ経験しながら美術の分野について学習し、その間に自分のやりたいことを見つけていきます。



共通教科　専門科目［美術］
FID：総合的な探究の時間　LHR：ホームルーム
※教育系大学の受験希望者は、2・3年生で数学、理科を選択して受験に対応します。

授業風景

授業風景

卒業制作

卒業制作展

卒業制作

卒業制作/授賞式

卒業制作

プレ卒展

2年生の1月には、卒業制作の前哨展として、校内にて作品展を行います。作品のみならず、会場設営や広報など、展覧会の運営の仕方を学びます。

海外研修［イタリア］

美術科での学習を基に、西洋美術の作品を鑑賞することにより、美術に対する理解を深め、美術活動に対する意欲的な姿勢を育てます。また西洋の自然や芸術文化に接し、知見を広めるとともに自国の自然や芸術文化を再確認し、国際的な視野を養います。

卒業制作 / 卒業制作展

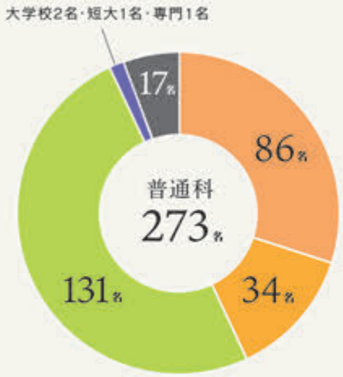
美術料での学びの集大成として、3年生は各自でテーマを定め卒業制作に取り組みます。秋には岐阜県美術館で展示し、各専攻の優秀な作品には白梅賞が贈られます。作品制作と同時に素描による自画像も制作、展示します。

アッシジ

フィレンツェ

Course

卒業生の進路



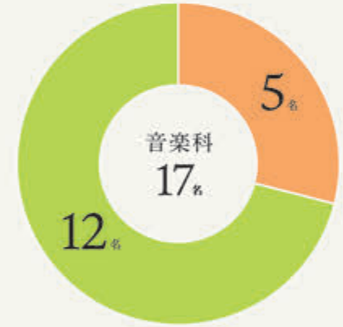
普通科進路先

国立	86名
公立	34名
私立	131名
大学校	2名
短大	1名
専門	1名
再受験など	17名

主要大学合格者数（延べ人数）

国公立大学	私立大学
京都大学(1)	早慶上理(5)
名古屋大学(10)	GMARCH(13)
北海道大学(2)	南山大学(93)
神戸大学(1)	愛知大学(48)
名古屋工業大学(5)	中京大学(108)
岐阜大学(40)	名城大学(141)
名古屋市立大学(10)	関関同立(69)
その他(62)	

※いずれも既卒生を含まず



音楽科進路先

国公立	5名
私立	12名

主要大学合格者数（延べ人数）

東京藝術大学(1)
岐阜大学(1)
愛知県立芸術大学(3)
武蔵野音楽大学(1)
名古屋音楽大学(7)
名古屋芸術大学(1)
椙山女学園大学(1)
金城学院大学(1)
同志社女子大学(1)

※いずれも既卒生を含まず

美術科進路先

国公立	9名
私立	10名
短大	2名
専門	1名
再受験など	15名

主要大学合格者数（延べ人数）

金沢美術工芸大学(3)
愛知県立芸術大学(3)
武蔵野美術大学(1)
岐阜大学(2)
信州大学(1)
東京造形大学(2)
女子美術大学(2)
名古屋芸術大学(4)

※いずれも既卒生を含まず

＊データは2024年度卒業生のもの

Message

卒業生からのメッセージ

互いに切磋琢磨し合えた日々

高木彩花

名古屋市立大学
人文社会学部 4年

大学生になった今でも、加納高校で過ごした3年間を鮮明に覚えています。加納高校は普通科・音楽科・美術科の3学科で構成されており、豊富な部活動、様々な行事があり、勉学以外の面でも充実した3年間を送ることができる環境が揃っていると思います。
私は加納高校で、かけがえのない友人や恩師と出会うことができました。色々な場面で、同じ志をもつ仲間たちと互いに切磋琢磨し合えた日々は今も私の支えになっています。また、みなさんの進む道を全力でサポートし、親身になって相談にのってくださる先生方ばかりです。
みなさんが素敵な高校生活を送ることができるよう、心より願っております。

様々な部活動、自由な校風

有田 弦

名古屋大学
理学部 3年

高校3年間を振り返ってみると、夢中になれるものがたくさんあって一瞬で過ぎていったような気がします。所属していたバスケットボール部では、かけがえのない仲間に出会い、共に挑戦し成長しました。勉強面では先生方の手厚いサポートの下、将来に向けて最後までやり切ることができました。3つの学科と様々な部活動、自由な校風を持つ加納高校はあなたの選択肢と可能性を広げてくれます。今はしたいことがなくても、白梅精神の下であなたを夢中にさせる何かがきっと見つかるはずです。

今の音楽活動に必要不可欠な経験

岡崎 広樹

東京藝術大学大学院
音楽研究科指揮専攻
修士課程1年

高校生活の中で大きな経験になったのは、文化祭におけるミュージカル公演です。仲間と得意分野を存分に活かしながら、公演を完成させる取り組みは加納高校の特徴であると思います。3回の公演の中で、演者・楽譜制作・指揮を担当させていただきましたが、どの活動も今の音楽活動に必要不可欠な経験であったと思います。
また、研修旅行でチェコ・オーストリアを訪れたことも大きな経験になりました。時代は違えど作曲家の環境を知ることは、音楽を理解することにおいてとても重要なことだと思います。ヨーロッパの空気・風景・文化・人間、これらは現地に行かなければ絶対に分かりません。加納高校は、そんな貴重な経験ができる学校です。

高校生活は私の宝物

清水 愛子

愛知県立芸術大学
音楽学部 器楽専攻
ピアノコース1年

高校生活を思い返してみると、すばらしい仲間、すばらしい先生方に囲まれた幸せな時間だったなと実感しています。仲間たちと切磋琢磨しながら、音楽をすることができる環境は、とてもすばらしいもので、得られたものは数えきれません。文化祭での音楽科合同ミュージカルや、合唱合奏の授業では、自分の専門の楽器以外のとても多くのことを学ぶことができました。高校3年間で、音楽に対する考え方が深まり、さらに音楽に対する欲求が増え、今の活力になっていると感じています。
尊敬しあえる仲間、心からサポートしてくださる先生方に囲まれて過ごせた高校生活は、私の宝物です。
素敵な仲間と出会い、自分の目標を見つけて、それに向かって進むことができた、この加納高校に感謝でいっぱいです。

ひたすら美術と向き合った濃密な時間

高橋 真美

東京藝術大学
美術研究科修士課程修了

オリエンタルランド・
クリエイションズ勤務

私は美術科を卒業して、現在はデザイナー・アニメーターをしています。将来美術とエンタメに関わる仕事がしたいと思い、加納高校への進学を決めました。加納高校では、デッサンを軸とした実技の授業を通して美術の基礎力を身につけることができます。3年間、毎日デッサンに励んで培った基礎力は、デザイナーとして働く今も大きな強みで、仕事中にデッサンの大切さを実感する機会がよくあります。思うように制作ができず悩む時期もありましたが、切磋琢磨できる友人のおかげでモチベーションが高まり、日々の勉強も受験も乗り越えられました。同じ目標を持つ友人に出会い、毎日ひたすら美術と向き合った濃密な高校生活は、私の夢にとって必要不可欠な時間で、人生の宝物です。

ぎゅっと詰まった3年間

大野 瑠菜

愛知県立芸術大学大学院
美術研究科油画・版画領域修了

現在 愛知県立芸術大学
教育研究指導員

美術科では毎日早くから朝デッサンがあり、授業時間、放課後にも制作をします。こうして毎日美術と向き合うぶん、うまくいかないこともたくさんあって、描くことが好きだけど描くことが難しい、悔しいなーという思いになります。そんな時は手当たり次第手を動かして描いてみたり、ぐるぐるする頭の中を解くようにじっと考えたり、同じ志を持ったクラスメイトと語り合ったり、先生にアドバイスをもらったりと、壁をのりこえる方法がいくつもありました。絵と向き合うこと、思考すること、心強い仲間、尊敬できる先生といったかけがえのない物事や存在と出会うことができました。
私は高校を卒業して4年が経ちます。絵を描き続けていると、高校を離れた場所で見知らぬ美術科の先輩後輩と出会うことがあります。母校の力はすごい！これから美術科に入学を考えている皆さんとも、どこかで絵の話ができる日があったらな。

Activity

部活動

文武両道

生徒は学習だけでなく部活動にも積極的に加入し、活動しています。仲間と共に本気で取り組み、互いの力をより高められるよう努力をしています。1日の生活は慌ただしくなるかもしれませんが、限られた時間を効率的に使うことを学び、様々な力をバランスよくつけることができるようになります。部活動への生徒の全体加入率は76％です。多くの生徒が学習と部活動を両立させています。音楽科・美術科の生徒の中にも所属している生徒がいます。

Culture

演劇

吹奏楽

アート（写真）

文芸

茶華道

アート（美術）

放送

地域研究

書道

自然科学

合唱

インターアクト

Every day
a new
adventure

Sports

ハンドボール（男子）

ハンドボール（女子）

バドミントン（女子）

卓球

バドミントン（男子）

陸上競技

硬式野球

テニス（男子）

テニス（女子）

サッカー

バレーボール（女子）

バレーボール（男子）

バスケットボール（女子）

バスケットボール（男子）

普通科 2年修学旅行

普通科 3年遠足

スポーツ大会
授業風景

Every day a new adventure

日常の風景

音楽科 2年遠足

音楽科 卒業演奏会

4 始業式・入学式
部活動紹介

5 2年普通科 修学旅行・校外研修
授業公開日・球技大会

6 前期中間考査

7 三者懇談会・音楽科定期演奏会
夏休み・夏季補習（3年のみ）
高校見学会

8 実力テスト
体験入学（音楽科）
体験入学（美術科）

9 白梅祭（文化祭）
前期期末考査

Every day a new adventure

School Life

学校生活

10 スポーツ大会
美術科卒業制作展

11 後期中間考査（1・2年のみ）
学年末考査（3年のみ）・授業公開日
2年音美科 海外研修・芸術鑑賞会

12 三者懇談会
音楽科卒業演奏会

1 コース本登録（1・2年）
実力テスト（1・2年）
2年普通科マレーシア海外研修（希望者）

2 SHOW文化祭・白梅の絆（卒業生を送る会）
同窓会入会式

3 卒業証書授与式
学年末考査（1・2年）・終業式

普通科 3年遠足

Every day a new adventure

入学式
白梅祭

美術科 卒業制作展

授業風景

普通科 2年修学旅行